

ネパール・中国国境付近の洪水・土砂災害に「自分たちにできることを」 ヒューマンアカデミー日本語学校の学生・教職員が救援募金活動 東京・大阪・神戸 3 校で国籍を越えた支援の輪

教育事業を展開するヒューマンアカデミー株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：田中 知信、以下「当社」）が運営するヒューマンアカデミー日本語学校（以下「当校」）では、2026 年 8 月 26 日に発生したネパールおよび中国国境付近における洪水・土砂災害を受け、9 月 1 日（火）から東京校・大阪校・神戸校の 3 校で救援募金活動を実施しました。

60 カ国以上から約 5,000 名の学生（※1）が学ぶ当校では、国籍や文化的背景の異なる学生が日々ともに日本語を学んでいます。今回、東京校ではネパール出身の学生が自ら教員に募金活動について相談し、学生有志による校内での呼びかけを実施。ネパールや中国などの学生が募金箱を手に協力を呼びかけ、さまざまな国・地域の学生・教職員が募金に協力しました。

活動を通じて集まった 276,433 円は日本赤十字社へ寄付し、被災地の支援に役立てていただきます。

（※1）2026 年 8 月末時点

【本件のポイント】

- 東京・大阪・神戸 3 校で救援募金活動を実施、学生・教職員が被災地支援に協力
- 東京校ではネパール出身学生が自ら教員に相談し、学生有志が校内で募金への協力を呼びかけ
- さまざまな国・地域の学生・教職員が募金に協力、3 校合計で 276,433 円が集まる



募金箱を手に校内で協力を呼びかける学生有志（東京校）

■学校で始まった募金活動から、学生自身の行動へ

2026 年 8 月 26 日にネパールおよび中国国境付近で発生した洪水・土砂災害を受け、被害地域にゆかりのある学生が在籍する当校では、東京校・大阪校・神戸校の 3 校で 9 月 1 日（火）から救援募金活動を実施しました。

東京校では、募金活動を知ったネパール出身の学生プジャンさんが、自ら教員に募金活動について相談しました。プジャンさんは、過去に被災地域を訪れた経験があり、今回の災害を受けて、自分にもできることはないかと考え、募金への協力を呼びかけることを希望しました。

これを受け、ネパールや中国などの学生有志が集まり、9 月 10 日（木）・9 月 11 日（金）に校内で募金への協力を呼びかけました。学生たちは昼休みの時間帯に募金箱を手し、授業を終えた学生や午後の授業へ向かう学生、教職員に協力を呼びかけました。



募金活動に参加するプジャンさん
（右から 2 人目・東京校）



被災地支援のために集まった学生たち（大阪校）



募金に協力する学生たち（神戸校）

■60 カ国以上の学生がともに学ぶ環境で、国籍を越えて広がった支援の輪

当校には、ネパール・中国をはじめ、60 カ国以上から留学生が集まり、ともに日本語を学んでいます。2026 年 8 月 26 日にネパールおよび中国国境付近で発生した洪水・土砂災害を受け、被害地域にゆかりのある学生が在籍する学校として、東京校・大阪校・神戸校の 3 校で 9 月 1 日（火）から救援募金活動を開始しました。

東京校や大阪校などで学生自身による呼びかけが行われたほか、3 校では、ネパールや中国にゆかりのある学生だけでなく、スリランカ、ブラジルなど、さまざまな国・地域の学生・教職員が募金に協力しました。

学友の母国・地域で起きた災害をきっかけに、国籍や文化的背景を越えて被災地を支援する輪が広がりました。

■募金活動と呼び掛けた学生の声

東京校／ネパール出身・プジャンさん

最初は、ほかの国や地域の学生がここまで協力してくれるとは思っていませんでした。でも、実際にみんなが協力してくれている姿を見て、とても感動して、思わず涙が出そうになりました。国や文化が違って、人を助けたいという気持ちは同じなんだと感じました。今回、ネパールや中国の人たちのために少しでも力になれたことを本当にうれしく思います。私一人ではできなかったので、先生や皆さんの協力に心から感謝しています。

■活動を見守った教職員の声

ヒューマンアカデミー日本語学校 東京校 藤原 佳奈先生

活動当初は声も小さく緊張した様子でしたが、募金に協力してくださる方が増えるにつれて、学生たちの声も自然と大きくなり、とても一生懸命に取り組んでいました。

最初はまだクラスの中で少し遠慮がちだった学生も、この活動を通して他の参加者とすっかり打ち解け、より深いコミュニケーションが取れるようになったと感じます。

また、その場にいた他の学生にも自発的に声をかけ、協力を呼びかけてくれる姿が見られたのも非常に印象的でした。



東京校 藤原 佳奈先生

■救援募金活動の結果

活動期間：2026年9月1日（火）～9月17日（木）

実施校：ヒューマンアカデミー日本語学校 東京校・大阪校・神戸校

対象：各校の学生・教職員

募金箱設置数：6箇所

募金総額：276,433円

寄付先：日本赤十字社

■ヒューマンアカデミー日本語学校について <https://hajl.athuman.com/>

1987年に大阪で開校以来、外国人を対象とした日本語教育機関として、39年にわたり日本の大学や大学院、専門学校といった高等教育機関への進学を目指す留学生を支援し、これまで30,000名以上の卒業生を輩出しています。（2026年3月実績）

また、企業のグローバル化に伴い増加する外国籍社員の定着をはかるため、ビジネスマナーや企業文化の理解、働くための心構えなど、日本語コミュニケーションをブラッシュアップさせる企業研修や、AI日本語会話アプリ「HAI-J（ハイジェイ）」なども手掛けており、各社より高い評価を得ています。



■ヒューマンアカデミーについて <https://manabu.athuman.com/>

ヒューマンアカデミーは、学びの面白さを提供する「Edutainment Company」として、1985年の創設以来、時代や社会の変化にあわせながら800以上の講座を編成しました。未就学児童から中高生・大学生・社会人・シニア層とあらゆるライフステージにおけるSTEAM教育やリスニング、学び直しの支援を行っています。

さらに、独自の「ヒューマンアカデミーGIGA スクール構想」を推進し、学習支援プラットフォーム「assist」を開発。SELing サポートカウンセラーと講師が、個別に学習目的や目標にあわせた進捗管理や相談などの学習サポートをします。私たちは、常に最先端の教育手法やテクノロジーを取り入れ、学びの喜びを追求し、質の高い教育サービスを提供していきます。



■ヒューマングループについて

1985年の創業以来「為世為人（いせいいじん）」を理念に掲げ、教育を中核に人材、介護、保育、IT、美容、スポーツと多岐にわたる事業を展開しています。

深刻な社会課題である「労働人口減」に対し、各事業の専門性を活かした4領域で解決を推進しています。教育・人材事業による「海外人材の活用」「成長産業分野の専門教育と労働移動」、介護（通所・訪問・ホスピス等）や保育・学童運営

による「国内労働力の確保」、RPA・AI・IT活用を通じた「生産性の向上」に注力。SDGsへの貢献を通じて、誰もが自分らしく生き、学び、働ける社会の実現と、時代に即した労働環境の革新に取り組んでいます。



Human

●ヒューマンホールディングス ウェブサイト：<https://www.athuman.com/>

会社概要

ヒューマンアカデミー株式会社

●代表者：代表取締役 田中 知信 ●所在地：東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿プライムスクエア 1 階

●資本金：1,000 万円 ●URL：<https://manabu.athuman.com/>

■本件に関するお問い合わせ■ ヒューマンアカデミー株式会社 担当 原・高橋
E-mail：ha_info@athuman.com

■ヒューマングループに関するお問い合わせ■ ヒューマングループ 広報担当 若林
E-mail：kouhou@athuman.com